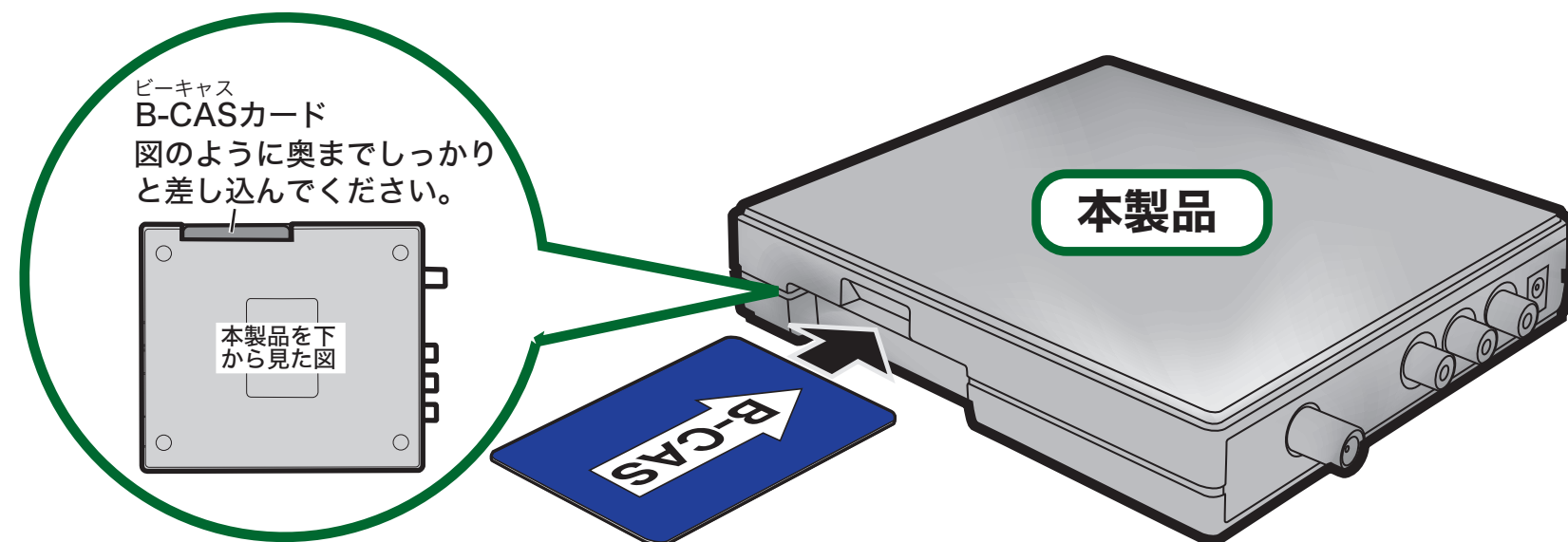


本製品を正しく使用するために、このマニュアルでセットアップをおこなってください。お読みになった後は、大切に保管してください。

# 1 ビーキャスト 付属の B-CAS カード ( 青いカード ) をセットします

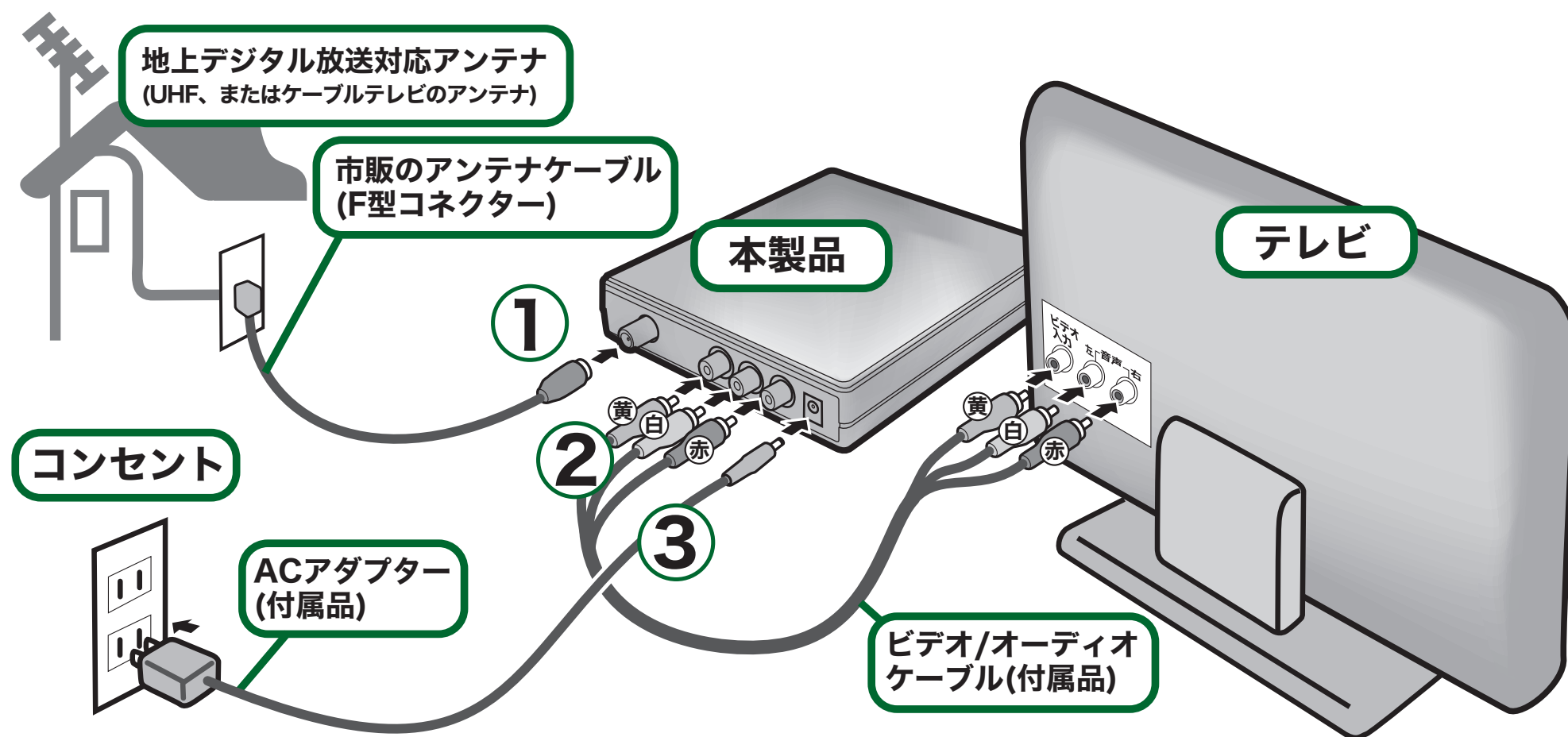
ビーキャスト  
「B-CAS」と印字された青い面が上になる向きで図のように差し込みます。



# 2 ケーブルを接続します

- ① アンテナを接続する ➡ ② テレビと接続する ➡ ③ ACアダプターを接続する

**△注意** アンテナケーブル・ビデオ/オーディオケーブルを本製品に接続するとき(ケーブルを接続し直すとき、ケーブルを変更するときを含む)は、必ずACアダプターを取り外した状態で行ってください。



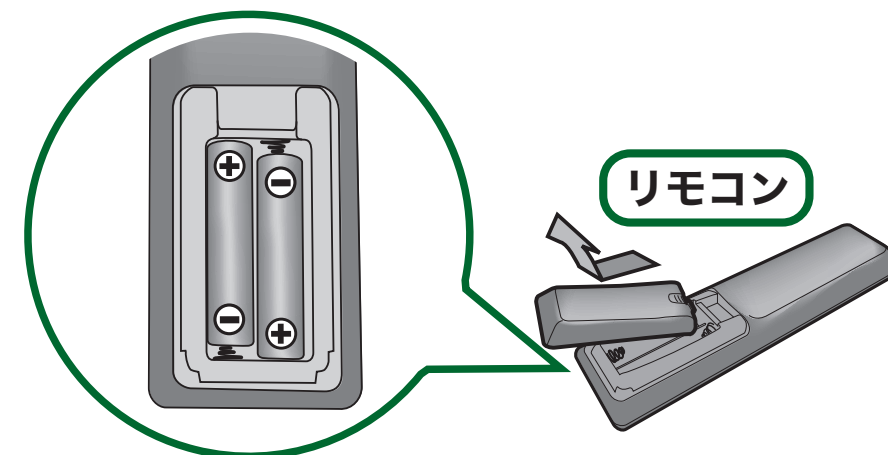
※ACアダプターを接続すると、本製品前面の電源ランプが青色または赤色に点灯します。  
※テレビの入力端子が2つしかない場合(モノラル音声しか入力できない)ときは、ビデオ/オーディオケーブルの黄色と白色のコネクターで本製品とテレビを接続してください。

右上につづく

# 3 リモコンの準備をします

## ・電池をリモコンに入れます

単四形乾電池2本を図のように⊕と⊖の向きに注意してリモコンに入れてください。



## ・リモコンでテレビを操作できるように設定します

付属のリモコンでテレビを操作するには、次の設定を行ってください。

- ① リモコンの **テレビ** **電源** を押しながら

- ② お使いのテレビのメーカー設定番号を押します。  
例) パナソニック1: **10**、**1** の順に1つつつ押す。

※同じメーカーでも複数の設定番号がある場合は、動作が確認できるまで順に番号をお試しください。  
※動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをご使用ください。

メーカー	設定番号	メーカー	設定番号	メーカー	設定番号	メーカー	設定番号
パナソニック(旧松下電器)1	10、1の順に押す	日立 1	11、1の順に押す	NEC 1	2、1の順に押す	船井 4	3、1の順に押す
パナソニック(旧松下電器)2	10、2の順に押す	日立 2	11、2の順に押す	NEC 2	2、2の順に押す	船井 5	3、2の順に押す
パナソニック(旧松下電器)3	10、3の順に押す	日立 3	11、3の順に押す	パイオニア	2、3の順に押す	SAMSUNG	3、3の順に押す
シャープ 1	10、4の順に押す	三菱 1	11、4の順に押す	富士通ゼネラル	2、4の順に押す	LG	3、4の順に押す
シャープ 2	10、5の順に押す	三菱 2	11、5の順に押す	アイワ 1	2、5の順に押す	ORION	3、5の順に押す
シャープ 3	10、6の順に押す	三洋 1	11、6の順に押す	アイワ 2	2、6の順に押す	PHILLIPS1	3、6の順に押す
ソニー 1	10、7の順に押す	三洋 2	11、7の順に押す	アイワ 3	2、7の順に押す	PHILLIPS2	3、7の順に押す
ソニー 2	10、8の順に押す	ビクター 1	11、8の順に押す	船井 1	2、8の順に押す		
東芝 1	10、9の順に押す	ビクター 2	11、9の順に押す	船井 2	2、9の順に押す		
東芝 2	11、10の順に押す	ビクター 3	12、10の順に押す	船井 3	3、10の順に押す		

- ③ リモコンの **テレビ** **電源** から指を離します。

- ④ リモコンの **テレビ** **電源** を押してテレビの電源を入/切できるか確認してください。  
(リモコンでテレビの電源を入/切するには、あらかじめテレビの主電源を「入」にしてください。)  
切り換わらないときは、手順1から再度設定を行ってください。

設定が完了すると、本製品のリモコンで以下のボタンが使用できるようになります。

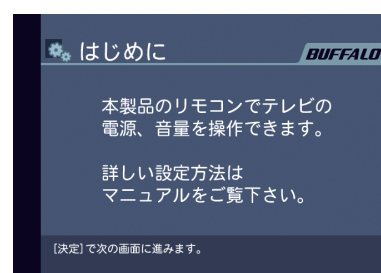
**テレビ** **電源** : テレビの電源を入/切します。  
**消音** : テレビの音声を消音します。  
**入力切替** : テレビを外部入力(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換えます。  
**音量** : テレビの音量を調整します。

# 4 初期設定を行います

テレビ画面の表示にしたがって本製品の初期設定を行います。

- ① 本製品前面の電源ランプが赤色に点灯しているときは、リモコンの右上にある電源ボタン **電源** を押してください。電源ランプが青色に点灯します(すでに青色に点灯しているときは、そのまま手順②へお進みください)。  
※本製品前面の電源ボタン **電源** を押しても本製品の電源を入/切することができます。

- ② 右の画面が表示されるまでリモコンの左上にある入力切替ボタン **入力切替** を押します(ビデオ1、ビデオ2等の外部入力に切り替えます)。  
※動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをご使用ください。



テレビの画面

- ③ 以降はテレビの画面の指示にしたがって操作をすすめてください。  
※チャンネル検索には最大10分程度時間がかかります。  
10分経過後もチャンネルの検索が完了しないときは、本製品に接続されているACアダプターを取り付け直してください。本製品起動後、手順①から再度やり直してください。

初期設定が完了すると、検索したチャンネルの番組がテレビに表示されます。

うら面につづく





## 5 地上デジタル放送を視聴します

初期設定完了後、本製品の電源を入れるとテレビ画面に地上デジタル放送が表示されます。

### チャンネルを変えます

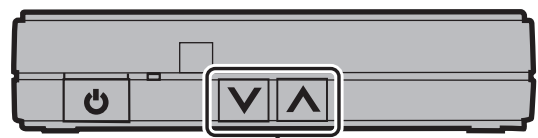
#### リモコン



数字ボタン

チャンネル上下ボタン

#### 本製品



チャンネル上下ボタン


チャンネルは、リモコンのチャンネル上下ボタン(または数字ボタン)か、本体前面のチャンネル上下ボタンで変更します。

#### マルチチャンネルの切り替えについて

現在視聴しているチャンネルが割り当てられているリモコンの数字ボタンを2回以上押すとマルチチャンネルに切り替わります。  
また、チャンネル上下ボタンを押すと、マルチチャンネルも含めて全てのチャンネルを一つずつ順に表示を切り換えます。

※マルチチャンネルとは、放送局がハイビジョン放送1番組の代わりに標準画質放送を同時に複数番組(2～3番組)放送するチャンネルのことです。


### 字幕表示に切り換えます

字幕放送対応の番組では、リモコンの字幕ボタン  を押すと字幕放送が表示されます。


※字幕放送に対応していない番組では、字幕ボタンを押しても字幕は表示されません。

### 現在放送している番組の一覧を見ます

リモコンの番組表ボタン  を押すと、現在放送している番組の一覧を表示します。

一覧から番組を選択し、リモコンの決定ボタン  を押すと選択した番組に表示を切り替えます。

### ズームボタンで適切な表示に切り換えます

ワイド型でないテレビ(4:3)をお使いの場合に、画面に黒い帯があるときは、リモコンのズームボタン  で全画面表示に切り換えることができます。



ズームボタンを押すと



左右の一部がカットされ、画面いっぱいに表示されます。

上下に帯が入って表示されている。



ズームボタンを押すと



画面いっぱいに表示されます。

上下・左右に帯が入って表示されている。

#### リモコン




ズームボタン

※映像によってはズームボタンを押しても黒い帯が表示されることがあります。このようなときは、お使いのテレビのマニュアルを参照して表示設定を調整してください。

### 本製品は自動的に最新のシステムに更新されます

本製品のシステムや機能は、テレビの電波を使って自動的に更新(改善)されます。

※更新時期は、設定画面の「お知らせ」でお知らせします。

本体前面のお知らせランプが橙色に点灯したら、リモコンのメニューボタン  を押し、「お知らせ」から更新時刻を確認してください。

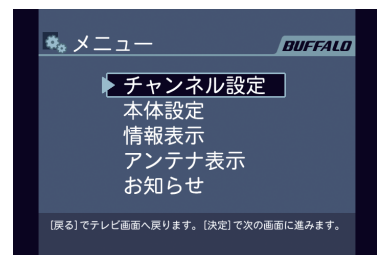
更新する時刻には、本製品をスタンバイ状態(電源ランプ赤色点灯)にしておいてください。

アップデート中は画面に注意が表示(お知らせランプは橙色点滅)されます。画面の指示には必ず従ってください。

アップデートが完了すると、お知らせランプが橙色点灯し、本製品の設定画面「お知らせ」にアップデート完了のメッセージが追加されます。

### 本製品の設定

リモコンのメニューボタン  を押すと、本製品の設定画面を表示することができます。設定画面では、次のことが設定できます。



設定画面

チャンネル設定	チャンネル取得	チャンネルの検索を行い、自動でチャンネルを設定します。(引越などで電波の受信方法が変更されたときにチャンネル取得を実行し、チャンネルを再設定します。)
	リモコンボタン割当設定	リモコンの各数字ボタンに割り当てる放送局を選択します。
本体設定		テレビ画面の設定: テレビに応じて「ワイドテレビ(169)」 「標準テレビ(43)」を選択します。 文字スーパーの設定: 文字スーパーを「日本語」「英語」「なし」から選択します。 LEDの明るさ調節: 本製品前面のランプの明るさを5段階で調節できます。 設定初期化: 工場出荷時の設定に戻します。
情報表示		本製品のソフトウェアバージョン、B-CASカードの情報を表示します。
アンテナ表示		チャンネルの電波の強度を表示します。
お知らせ		放送局、受信機からシステム更新のお知らせがある場合には、メッセージを表示します。

### 困ったときは

#### ○テレビ画面が正常に表示されません

黒い画面しか表示されない、画面がカクカクする、画面がチラつくなどして正常に表示されない場合、次の原因が考えられます。原因に対応した対策をおこなってください。

原因1. 電波の受信状態が悪い(アンテナの受信レベルが低い)

対策1. アンテナの受信レベルを確認します。

設定画面の[アンテナ表示]で受信レベルが65%を超えているか確認します。  
受信感度が低いと、映像がコマ落ちしたりチラついたりして鮮明に表示されません。受信感度が低い場合は、下記をおこなって受信感度を改善してください。

- ・アンテナケーブルを本製品の地上デジタルアンテナ入力端子にしっかり接続します。
- ・アンテナの向きを調整します。地上デジタル放送の放送局に合わせた向きにアンテナを調整する必要があります。
- ・アンテナケーブルを分岐している場合は、分岐せずに接続します。
- ・市販のブースター(増幅器)を本製品とアンテナの間に接続してください。
- ・受信レベルが高すぎる場合は、市販のアッテネーター(減衰器)を本製品とアンテナの間に接続してください。

原因2. チャンネルの設定がされていません

対策2. 設定画面の[チャンネル設定]でチャンネルを自動設定します。

原因3. テレビの画面の明るさが最も低い状態に設定されている

対策3. テレビのマニュアルを参照して、画面の明るさを調節してください。

#### ○音声が出力されません/音声が途切れます

原因1. テレビが消音(ミュート)に設定しています

対策1. テレビの消音設定を解除してください。

原因2. テレビの音量が最小の設定になっています

対策2. テレビの音量を適切な音量に調整してください。

#### ○リモコンが操作できない

原因1. 電池が消耗している

対策1. 新しい電池に交換してください。付属の電池は動作確認用です。できるだけ早めに新しい電池と交換してください。

原因2. 電池の向きが間違っている

対策2. リモコンに記載された電池の向きに合わせて電池をセットしなおしてください。

原因3. テレビのメーカー設定番号の入力が間違っている

対策3. おもて面「リモコンでテレビを操作できるように設定します」を参照して、テレビに対応した設定番号をリモコンの数字キーを押してください。

#### ○電源が入らない

原因. ACアダプターが接続されていない

対策. 本製品の電源コネクタとコンセントを付属のACアダプターで接続してください。

弊社ホームページには、本製品についての「よくある質問」などの詳細情報が記載されています。困ったときにご参照ください。

<http://buffalo.jp/qa/faq/>

### 製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) を参照してください。

受信放送方式	地上デジタル放送 (ISDB-T)
地上デジタル放送受信チャンネル	VHF 1ch～12ch、UHF 13ch～62ch、CATV C13ch～C63ch
アンテナ入力	F型コネクタ(入力インピーダンス75Ω)
対応機能	CATVパススルー、字幕放送、簡易番組表(現在放送している番組の一覧)
出力端子	コンボジット映像端子(1系統・RCAピン端子) ステレオ音声端子(1系統・RCAピン端子)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大4W
外形寸法	W125xH28xD143mm (突起部含まず)
重量	約245g (本体のみ)
動作環境	温度0～40℃、湿度10～80%(結露なきこと)

※本製品は、データ放送および双方向サービスには対応しておりません。

■本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。

■BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、TM、®、©などのマークは記載していません。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。